

平成16年 6月定例会-06月22日-05号

丹生谷道孝議員

議長の仕事に就任して、一言ごあいさつ申し上げさせていただきます。

その前に、私の議事運営にかかわる不手際によりまして、本会議がこのように遅くなりましたことに対しまして、心からお詫びを申し上げます。

さて私こと、昨年7月1日、議員の皆様方の温かい御厚情によりまして、第87代松山市議会議長に就任させていただきましたより、早くもあっという間に1年が経過をいたしました。全く思いがけなく議長就任ということで、議長によって何をすべきか、また何ができるか考えまして、そこで就任のごあいさつの中で、微力ではございますけれども議会の活性化に取り組ませていただきたいという決意を表明させていただきました。代表者の皆様方と種々協議、御相談申し上げさせていただき、まず最初に手がけさせていただきましたことは、松山市議会活性化懇話会を立ち上げさせていただきました。各会派から御推薦いただいた7名の方、そして無会派の方1名、8名によります構成であります。その中で本当に逢坂座長さん、宇野副座長さんを中心に月2回のペースで、お忙しい中を精力的に真剣に御協議をいただいたことに、心から感謝と御礼を申し上げます。いろいろな角度から多くのテーマについて御協議いただきましたけれども、その中で全会一致ということから実現できたことの中に、今議会から始まっておりますこれまでの委員会、常任委員会、6つあります。1日で開催しておりましたが、これを2日間にわたって開催する、さらには9月の本会議から適用されますけれども、代表質問において質疑の中から質問するという、議案の中から質問するという縛りがありましたけれども、代表質問においては会派を代表してそのときどきの重要な問題について質問する、その縛りを外して、自由に何でも聞けるようになりました。さらには、それが9月のことでもございましたけれども、昨年の11月にはこの議場を市民の皆様方に開放しよう。これは前川本議長さんのときから手がけられたことではございますけれども、「今、議場がおもしろい-松山市議会に親しむ1日」ということで、子規記念博物館の天野館長さんに言葉の力、「ああ言えばこう言う」という題で御講演をいただきまして、そして音楽家の2人の方、フルートとギターのアンサンブル、さらには和気松原コーラスの皆様方のコーラスの歌声もいただきましたし、特別出演として中村市長にも御出演いただいて、坂の上の雲を熱っぽく話していただきました。この議場のみならず、その傍聴席まで市民の皆様方が満杯で、大変な盛況の中に行われました。さらには、本年の2月には、この議場にお隣の番町小学校の児童、5年、6年生の皆さん46名の方が、実際にこの次代を担う子どもたちにこの本会議場を体験してもらおう、総合学習の一環として行っていただきました。質問は全部子どもさんたち、

児童の皆さんが考えたものでありまして、我々以上に立派に議会を開催していただき、本当に感心した次第でございます。後で全員の皆様方から感想文が寄せられました。その中のお一人には、自分も将来大きくなったら市議会議員として活躍したいという声も寄せられておりました。さらには、先月の5月、議会活性化フォーラムを開催させていただきました。専修大学法学部教授の先生に来ていただきまして、活性化についての御講演をいただくとともに、2部形式ではパネルディスカッションということで、行なわせていただきました。さらに、7月の末には、実際のこの活性化に取り組んでいる先進地からお越しいただいて、実際に取り組んでいる事項について発表していただくということも企画をいたしております。しかし、これはあくまでもこれからのいよいよの活性化に向けての私は露払い役であると、このように認識をいたしております。この上は新しい新議長のもとで、本格的にこの地方分権時代にあって、それを先導するにふさわしい松山市議会はどうあるべきかということを徹底的に御論議いただき、その前進を図っていただきたいということを念願いたしております。そのためにも私は痛感することは、やはり市長部局と執行機関と議会という立場はございますけれども、こと執行機関と議会ということになった場合には、やはり我々議員として、皆様方におかれましては議会サイドに軸足をしっかりと置いていただくということも必要ではないかと痛感をいたしているところでございます。

また、この1年間、最後になりましたけれども、市民の皆様を初め議員各位、そして中村市長並びに理事者の皆様方、報道関係の皆様方の温かい御支援に心から感謝と御礼を申し上げます。さらには、議会事務局の皆様、本当にこの1年大変お世話になりました。今議会事務局の職員、正職員24名でございますけれども、この将来的に私は確信しておりますことは、議会事務局といえは市政全般のみならず全国の情報もいち早く知り得る立場にあるわけでございます。やがて近い将来、人事異動、松山市職員3,280名いらっしゃいますけれども、その際に自分もぜひ議会事務局に行って仕事をしたい、こういうふうな様相が呈してくることを確信をいたしているところでございます。

最後になりましたけれども、私、全国広域行政圏市議会協議会の会長という立場を、松山市が現在その充て職になっておりますけれども、全国市議会議長会の各種の行事、さらには北条市・中島町合併協議会の委員として、本当に貴重な経験を積まさせていただきました、心から感謝を申し上げているところでございます。これからはこれらの貴重な経験をもとに、これまで以上にしっかりと議員活動に邁進してまいりたいと考えておりますので、皆様方のこれまで以上の御指導、御鞭撻を心よりお願い申し上げさせていただきます。皆様、本当にこの1年大変お世話になりました。ありがとうございました。(拍手)